立憲民主党
鳥取県総支部連合会
T otto R ikken Press
第１号
2020.11.10

ご来賓をお招きし結成大会

10 月 10 日に米子市で、立憲民主党鳥取県総支部連合会の結成大会を、県内の党員・サポーター・パートナー等約 100 名及び旧立憲と旧国民の地方議員全員が合流し、開催しました。冒頭、結成を呼び掛けた旧国民民主党鳥取県総支部連合会の伊藤保代表と、旧立憲民主党鳥取県連合の興治英夫代表からのご挨拶で幕を開けます。来賓として、鳥取県の野川聡副知事、米子市の伊木隆司市長、連合鳥取の本川博孝会長、部落解放同盟鳥取県連合の津川俊仁委員長からお祝のご挨拶を頂きました。結成大会では、役員案の他、鳥取二区の湯原俊二支部長の小選挙区での当選を目指す活動方針案などが、全会一致で承認されました。

枝野代表・浜田代表によるご挨拶

そして、駆けつけて頂いた枝野代表から「時期衆議院選挙で政権の選択肢となり、政権をひっくり返していく。」という力強い決意が表明されました。また、県連代表に就任した浜田妙子県議は「地方が主役となっていない。湯原さんを必ず国会へ送り、地方の代弁者として役割を果たしてもらうために全力を尽くす。」と、鳥取県連を代表しご挨拶いたしました。

米子だんだん広場前で街頭演説

結成大会終了後には、米子だんだん広場前にて、街頭演説会を開催。約 200 名の方々にお集まりを頂き、立憲民主党鳥取県連が目指す政治について訴えました。浜田代表、枝野代表に引き続いて登壇された、鳥取二区支部長である湯原俊二元衆議院議員からは、「政治を変えていこう！」と、力強い訴えがありました。皆さんの大きな拍手で、湯原支部長の必勝を誓い合いました。

立憲民主党鳥取県総支部連合会は、目指します！

・政治は、劣勢にある地域や人々のために
・地方や中山間地域、中小・小規模事業所、農林水産業を大切に
・財源や権限を地方に移して、地域独自のまちづくりを
・暮らしを守り、生活不安や老後の不安を取り除きます
・子育て・教育、雇用、年金、医療、介護を優先します